

どうぶつこうえん ニュース



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

No.41

2001

秋

Topics

トピックス

パタスザル (霊長目・オナガザル科)



このたび、はるばる九州は熊本市動植物園より“お嬢さん”としてやってきたパタスザルを紹介します。

千葉市動物公園では“べっぴんさん”のパタスザルが、ひとり寂しく毎日を過ごしていたのでお嬢さんを募集していました。

パタスザルは、オナガザル科に属しアフリカのサハラ砂漠の南に広がる広大な草原に生息しています。地上生活に適應できるよう、手足はすらりと長く指は短

くて、霊長類の中では最も駿足のサル、100mを7秒半足らず（時速55Km）で駆けることができます。この自慢の足をもってサバンナを犬のように走り、時折、二足で背伸びをするようにして周りを見渡し、ジャッカルなどの天敵からはこの逃げ足の速さで身を守っています。

10数頭から50頭にまでなる群れをつくり、草原を移動する様子が軍隊の行進のように見えることから“軍隊ザル”と呼ばれることもあります。顔つきもとても愛嬌のある顔をしていて、額には眉毛のような黒い線があり、おとなになると雄雌とも上くちびるの白い毛が口ひげのようになり、特に雄は“夏目漱石”以上に立派になります。

お客様の中には“パスタ”ザルと読み間違える方がいらっしやるようですが、パタス、パタスザルです。“パタス”とは、現地語で「赤い」（赤レンガ色）という意味で、別名レッドモンキーといわれています。

サルの仲間では、親愛行動として毛づくろい（グルーミング）はよく見られますが、パタスザルではさらに特徴的な行動として、1頭の個体が別の個体に近づいて自分の口で相手の口に触れる、いわゆる“キス”をすることがあります。

現在、新しい雄が来てから日が浅く、キスシーンはまだお目にかかれませんが、1日も早く新しい環境に馴れて、ラヴラヴなキスシーン、そして二世誕生を願っています。

中村 彰宏 (Akihiro Nakamura)

目次

CONTENTS

表紙【シロオリックス】	①
トピックス【パタスザル】	②
子ども動物園 OPEN	③
感じて！命のつながり	④～⑤
動物公園の動物 【バク】	⑥
飼育よもやま話	⑥
動物公園日誌から【'01.6/1～'01.8/31】	⑦
編集後記	⑦
裏表紙【アビシニアコロブス】	⑧

表紙の動物説明 シロオリックス

シロオリックスは、かつては北アフリカ全土に生息していましたが、乱獲や環境破壊などで激減。野生種は、チャドに設けられた動物保護区にたろうじて生存していましたが、それさえも軍隊の活動により絶滅したのではないかと考えられています。一方、世界の動物園などには3500等前後が飼育されており、これら飼育されているシロオリックスの全てに、今後の未来がかけられているといっても過言ではないでしょう。

秦 舜二 (Shunji Hata)

動物飼育数

平成13年8月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31. Aug. 2001

哺乳類	58種	324点	両生類	0種	0点
鳥類	81種	303点	魚類	0種	0点
爬虫類	4種	18点	総計	143種	645点

子ども動物園

平成13年 10月25日

お待たせしました!!

OPEN



昨年4月から、改修工事のため一時閉園しておりました「子ども動物園」が、10月25日に開園いたします。約7,500㎡の敷地に、家畜や野生動物など全部で約30種類の人気者達が勢揃いして、皆さんをお迎えいたします。

それでは、新しい子ども動物園をご案内しましょう!

門をくぐり、まず、ウマの親子をイメージした、ほのぼのとした印象のモニュメントに、思わずほほえむことでしょう。

そのすぐ左手は「子ども牧場」です。ウマは、体重700kgを超える大きなペルシュロン、北海道のドサンバ、人なつこいシェトランドポニーが、ウシは白黒模様のホルスタインと茶色のジャージーがやってきました。小型のロバ、珍しいミニブタのポットベリーもご覧になれる。時間によっては、ウマの手入れの様子を間近に見ることもできます。

右手は「ヤギとヒツジの広場」です。中型のイヌくらいの大きさしかないシバヤギ、白いヒツジのコリデールがのんびり過ごしている広場に、どなたでも自由に入ることができます。中ほどの池で羽を休めているアヒルやガチョウ、砂遊びをするニワトリもここでご覧になれる。ここには、新たにカイウサギの展示「ウサギの広場」もできました。

中ほどの、ペンギン・カピバラ・プレーリードッグ・リス・チ

ンチラなどおなじみのかわいい動物達、そして色鮮やかな大型インコやゾウガメ達の姿には、どなたもシャッターを押さずにいられないでしょう。日本のカメのクサガメ達も見逃せません。

一番奥には、モルモットとハツカネズミに出会える「コンタクトコーナー」があります。予約による団体貸切も可能なように、スペースを仕切ることができる工夫をいたしました。時間によっては、カイウサギも登場します。壁には、以前子ども達が描いた動物達の絵がたくさん飾ってあります。

ステージ前には、団体指導やヒツジの毛刈りなどのイベントに利用しやすいように、座席を増やしました。この座席には、雨でもご利用いただけるよう、屋根を付けています。また、動物達のこと学んでいただけるよう、クイズや解説板を充実いたしました。

そして、何とんでも「飼育センター」は楽しさいっぱいです。動物達への「お便りポスト」に、手紙を出してみませんか?動物からの返事もはります。さわって確かめるコーナー、動物の「あかちゃんくらべ」と「あしあとくらべ」はいかがですか?手作りのオリジナル絵本もご用意しました。また、身近な小動物の展示コーナーもあります。そうです。ここは、みなさんと動物達とをつなぐ場所なのです。

さあ、どうぞゆっくりお楽しみ下さい。

OPEN OPEN OPEN OPEN OPEN OPEN

OPEN OPEN OPEN OPEN OPEN OPEN



感じて！ 歩のつながり



1 ウマにもいろいろな種類がいます。大きいベルシュロン、中くらいのドサンバ、小さいポニーがあなたをお迎えます。



2 南アメリカのあたかい地方の海にくらすフンボルトペンギンです。



3 日本の代表的なカメです。



4 ヤギやヒツジが放し飼いになっています。ご自由に中に入って、動物達と「こんにちは」。好奇心いっぱいのヤギやヒツジ達と仲良くなって下さいね。



5 砂あびが大好きなチャボです。

6 「ひろば」の池にいたることが多いです。見つけてね。

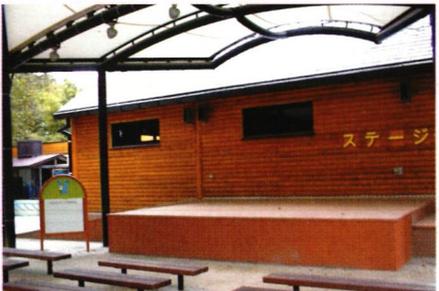


7 のんびりくつろぐウサギの姿をごらん下さい。

8 屋根付きなので、急な雨でも大丈夫。



9 生まれたばかりの赤ちゃんを実物大の模型で表しました。ゾウやキリンの足跡もあります。また、動物へのお便利コーナー・クイズや絵本をたくさんご用意しました。展示コーナーでは、カエルやヘビなど、身近な小動物をごらんになれます。



18 世界最大のネズミです。



17 ホルスタインとジャージー。世界の代表的なウシです。



16 ロバの鳴き声、一度聞いたら忘れられません。



15 世界で最も小さいブタ「ポットベリー」がやってきました。

14 色鮮やかな大型インコ達はおしゃべりが大好き。一緒にお話ししましょう。



13 寒い時期でもガラス越しに部屋にいるゾウガメをのぞくことができます。

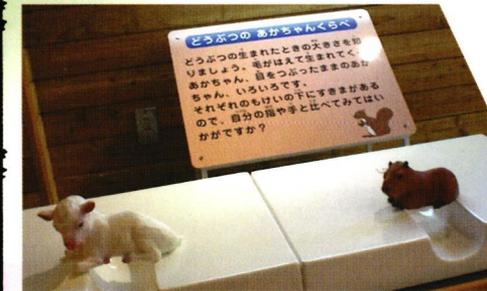
12 幼児や小学生の団体の方は時間を予約して、貸切で利用することができます。テングネズミとハツカネズミに触れることができます。ご希望があればカイウサギも登場します。

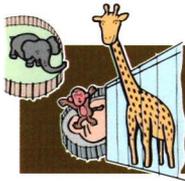


10 かわいらしいぐさで大人気の「リス」と「チンチラ」。クイズもあります。



11 穴から顔を出すと場所が見られるかな？





動物公園ニュース (動物公園の動物)

マレーバク (Malayan Tapir)



今回紹介する動物は、悪い夢を食べるという伝説を持つ動物のバクです。またバクは、神様がいろいろな動物の残り物でつくった動物とも言われています。

実際にはバクはどんな動物なのでしょう。バクはウマやサイと同じ仲間の子蹄目に入ります。中南米や東南アジアに4種類のバクが生息していますが、動物公園ではこの中のマレーバクを3頭飼育しています。名前はヤマト(オス)とユキミ(メス)、そして子どものカイク(オス)です。

マレーバクは、アジアに唯一生息しているバクです。また親の体の色が白と黒のツートンカラーです。体もバクの中では一番大きく、体長が2m~2.4m、体重は250~300kgです。前足には4本、後足には3本の指があります。鼻は短いですが、よく動き、食べ物を口に引き寄せたりするのに使います。また、水の中では鼻だけを水の中から出してシュノーケルのようにも使います。耳は大きな楕円形をしています。尾はとても短いです。性格は比較のおとなしく、人に慣れてくると、体をこすると横になって寝てしまいます。オス、メスともに尿を後ろに飛ばし、5mぐらい飛ばします。また、排便は水中で行われることが多いですが、慣れてくると陸上でも行います。また、シャワーをかけると、すぐに排便を行うことがあります。野生では木の葉や果実を食べていますが、動物公園では青草や乾草、ペレット、果物や根菜類を与えています。妊娠期間は13カ月で、子どもの体重は約10kgぐらいです。子どもの体は、大人の色と異なり、黒い体に白い斑点と縞模様があります。この模様は2ヶ月ぐらいで徐々に変わり始め、6ヶ月ぐらいで親と同じような色になります。

近い将来、この子どもの模様が皆様にお見せできることを願っています。

足立 仁之 (Masayuki Adachi)



飼育よもやま話

「昔の面影はいずこへ」

動物公園では数年に一度、担当換えというものが行われます。私の場合は6年間シマウマ・ダチョウのいる草原ゾーンを担当していましたが、この春、家畜の原種ゾーン(アンシスター・オブ・ドメスティックアニマルゾーン、職員内では略してドメスゾーンと呼んでいます。)へと異動になりました。

このドメスゾーンの裏の一角にホオカザリヅルのペアがいます。その内の雄のほうは以前在籍していた草原ゾーンで一時期担当していた個体で、当時は動くものには何でも向かっていくという攻撃性の強い性質の持ち主でした。特に鳥は繁殖期になると性格が一変し、敵と見なしたものに対して凶暴になりますが、これは自分の子孫を残すため、相方や領土を守るのに必要なことなのです。しかしこの個体は、飼育係はもちろんのこと、同居している雌にまで襲いかかってくるので、数年前にこのドメスゾーンの裏へと住み処を移したのです。

と、ここで数年ぶりの邂逅となったわけですが、以前の荒々しさは影をひそめ、嘴を向けてくることはほとんどなくなっていました。ネット越しにいる雌に対しても同様です。違う人が舎内に入ると多少攻撃してくるということなので、私のことをどのように認識しているのが不思議なものです。

しかし、せっかく隣に雌がいるのですから昔の半分でも雄らしい行動が蘇ってくれればと思います。栄養価の高い餌を少し多めに与えたのですが、現在も落ち着いた状態のままです。まだ枯れるには早い年齢ですし、この心変わりの原因はいったい何なのでしょう。ホオカザリヅル当人に聞いてみたい気持ちでいっぱいです。



樽川 修 (Osamu Tarukawa)



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'01年6月1日～'01年8月31日

- 6月2日 アカハナグマ, モウコノウマ 腰麻痺予防接種
- 6月4日 グレービーシマウマ, ハートマンヤマシマウマ
日本脳炎予防接種
- 6月8日 カリフォルニアアシカ 1頭繁殖



- 6月11日 テンジクネズミ, カイウサギ 購入にて新着
シヨウガラゴ 2頭繁殖
- 6月16日 カンガルーとエミューのガイドツアー 実施
- 6月18日 オランウータン放飼場擬岩の補修工事
- 6月22日 アフリカ草原放飼場 芝の種まき, 追肥
- 6月24日 「ワンポイントウォッチング」開催(コツメカワウソ)
(講師 飼育課 古谷)
- 6月30日 シロガオマーモセット(雄1) 検疫明ける
- 7月1日 特別講演会 開催「野生ゴリラの保護」
講師-山極寿一氏(霊長類研究所)
- 7月4-5日 中学生職場訪問あり
- 7月9日 パタスモンキー(雄1) 動物交換で搬出
ギンケイ(雌2) 鯖江市より受贈
オオタカ(2羽) 県自然保護課の依頼にて
緊急保護受け入れ
- 7月12日 水禽池にカラス侵入
(ツクシガモ ヒナ 行方不明)
- 7月15日 ダチョウ 産卵
シマアジ(7羽) フ化
- 7月18日 学芸員実習(大学生 2名) 実習受入れ
- 7月21日 フンボルトペンギン 2羽 死亡
- 7月24日 小学生サマースクール 1日目(1-2年) 実施
~26日(3-6年)



- 7月27日 千葉市幼稚園協会 研修会 実施
- 7月31日 ゴリラ舎 体重計の設置
- 8月1日 学芸員実習(大学生 2名) 実習受入れ
- 8月3日 アビシニアコロブス 1頭繁殖
- 8月9日 シバヤギ, ヒツジ 購入にて新着
- 8月10日 オジロワシ ヒナ 体重2920gに成長する
- 8月11日 ペルシュロン 削蹄を実施
- 8月15日 ビグミーマーモセット(2頭) 繁殖



- 8月20日 エリマキキツネザル 鼻の脂肪種 麻酔にて除去手術
- 8月21日 東京・私立高校生 8名 体験実習
- 8月24日 シバヤギ, ヒツジ 検疫明ける
- 8月25日 ツクシガモ 4羽 展示場へ移動 展示開始
- 8月28日 シバヤギ(雌1) 子宮破裂にて死亡
- 8月29日 パタスモンキー 夜間 雄・雌同居開始

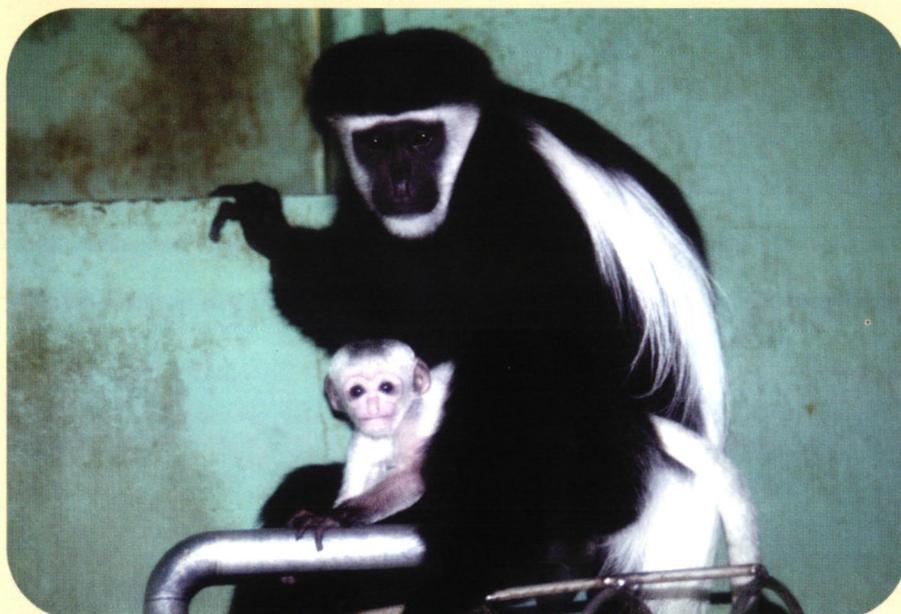
牧野 辰男 (Tatsuo Makino)

編集後記

約1年半の改修工事を終えて、いよいよ子ども動物園がオープンします。皆様もご存じのとおり、子ども動物園は動物公園の中でも唯一動物とふれあえる人気スポットなので、子どもたちだけでなく大人の方も一緒に楽しんで下さい。行楽シーズン真っ最中、ご家族、カップル、お友達と爽やかな秋空の下、きっと楽しい一日を過ごせると思いますよ。

次回発行予定は平成13年12月1日です。

平木 利幸 (Toshiyuki Hiraki)



アビシニアコロブス



Information

平成13年10月・11月・12月の
催し物一覧

- ★ 10月21日㊦ ワンポイントウォッチング
(ニシローランドゴリラ)
- ★ 11月3日㊦ 動物公園クイズラリー
(文化の日)
- ★ 11月18日㊦ 写真コンクール講演会
- ★ 12月9日㊦ クリスマス音楽会